

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元	
細胞障害因子の移植片対白血病効果における意義と臨床応用に向けた研究	犬飼 岳史	小児科学	1,300	補委	文部科学省
C型肝炎ウイルスプリオン系によるHCV増殖機構の解析とその制御	榎本 信幸	内科学1	6,500	補委	日本学術振興会
がん幹細胞に発現する転写因子を標的とした新規分子標的療法の開発	小松 則夫	血液内科	6,890	補委	日本学術振興会
ホスホリパーゼA2を基盤とする心血管病の成因解明と新しい予防・治療薬の探索	久木山 清貴	内科学2	8,970	補委	日本学術振興会
虚血耐性の内在性神経保護作用における細胞内情報伝達系の解明	木内 博之	脳神経外科学	15,210	補委	日本学術振興会
血管新生多様性と選択性の解析に基づく癌転移制御の可能性に関する研究	板倉 淳	外科学1	650	補委	日本学術振興会
動脈硬化形成における血管内皮細胞のCD36の発現意義の解明	岩佐 敏	病理部	1,040	補委	日本学術振興会
抗p53抗体とp53T細胞応答を利用した新しい頭頸部癌の診断・治療法の開発	近松 一朗	耳鼻咽喉科	780	補委	日本学術振興会
重症呼吸不全に対する液体換気の有効性と安全性に関する基礎的検討	松田 兼一	救急部	910	補委	日本学術振興会
甲状腺癌のプログレッションにおける遺伝子背景の分子病理学的研究	加藤 良平	人体病理学	1,040	補委	日本学術振興会
データ・マイニングによるC型慢性肝炎・肝細胞癌の病態解明とその臨床応用	朝比奈 靖浩	内科学1	2,210	補委	日本学術振興会
B型肝炎ウイルス・ポリメラーゼ遺伝子解析による慢性肝炎の病態解明	黒崎 雅之	内科学1	2,210	補委	日本学術振興会
血小板上受容体型チロシンフォスファターゼRPTPベータ・ピロリ菌関連疾患との関係	尾崎 由基男	臨床検査医学	1,690	補委	日本学術振興会
血小板凝集を惹起する新しい受容体CLEC-2: 抗血栓薬新規ターゲット蛋白の可能性	井上 克枝	臨床検査医学	1,040	補委	日本学術振興会
11q23転座型ALLにおけるFLT3/FLT3リガンドシステムの解析	杉田 完爾	小児科学	1,690	補委	日本学術振興会
担癌マウスにおける免疫抑制状態の解析とその回避による腫瘍ワクチン増強効果の検討	柴垣 直孝	皮膚科学	1,690	補委	日本学術振興会
重症うつ病の電気痙攣治療による脳機能画像変化と認知機能に関する検討	小林 薫	精神科神経科	1,820	補委	日本学術振興会
胃癌、食道癌における術後アジュバントとしての癌ワクチン療法の開発	河野 浩二	外科学1	2,210	補委	日本学術振興会
神経再生における脂肪酸結合蛋白の役割ー各種ノックアウトマウスを用いての研究ー	内田 幹人	脳神経外科学	2,210	補委	日本学術振興会
腰痛解明への分子細胞学的アプローチと新しい治療法の確立	波呂 浩孝	整形外科	1,560	補委	日本学術振興会
虚血後の脳血管のセボフルラン、プロポフォルンに対する反応とそのメカニズム	石山 忠彦	手術部	1,560	補委	日本学術振興会
プロスタグランジンチャランスポーターと細胞内外受容体を介する腫瘍増殖抑制機構の解明	野澤 宗裕	泌尿器科学	1,170	補委	日本学術振興会
自己分泌型遊走因子による上皮間葉移行とがん細胞悪性化の機構解明	新中 康史	歯科口腔外科学	1,820	補委	日本学術振興会
C型肝炎ウイルス蛋白NS3ヘリカーゼによるウイルス増殖制御機構の解明	前川 伸哉	内科学1	2,340	補委	日本学術振興会
劇症1型糖尿病の成因・早期診断に関する研究	遠藤 登代志	内科学3	2,860	補委	日本学術振興会
白血病細胞の糖代謝特性の解明とそれに基づく新規治療戦略の展開	桐戸 敬太	血液内科	2,860	補委	日本学術振興会
線虫ces-1相同転写因子であるSlugの白血病細胞の細胞死制御における意義	犬飼 岳史	小児科学	2,860	補委	日本学術振興会
自然免疫を介した炎症防御機構の臓器間相互関連の解明と、その臨床応用に関する研究	河野 寛	外科学1	2,340	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
遷延性脳脊髄液喪失状態の脳内モノアミン代謝に及ぼす影響	堀越 徹	脳神経外科学	3,380	①補委 日本学術振興会
脳虚血再灌流時のクロマカリム、デクスメトミジン、ローキナーゼ阻害薬の脳保護効果	木内 理子	麻酔科学	3,120	①補委 日本学術振興会
脊髄代謝型グルタミン酸受容体に着目した脊損後排尿障害の病態解明と治療法検討	芳山 充晴	泌尿器科学	3,510	①補委 日本学術振興会
膀胱求心性神経伝達における機械感受性イオンチャンネルTRPA1の役割	荒木 勇雄	泌尿器科学	2,340	①補委 日本学術振興会
プロスタグランジン分解代謝系遺伝子群が陰茎勃起に果たす役割に関する検討	野村 照久	泌尿器科学	2,860	①補委 日本学術振興会
緑内障性軸索流障害の原因究明とその治療法の研究	柏木 賢治	眼科学	2,600	①補委 日本学術振興会
脂質ラフト制御によるC型肝炎治療戦略の開発	榎本 信幸	内科学1	1,600	①補委 日本学術振興会
C型肝炎ウイルスによる自然免疫の攪乱機構の解明	北村 敬利	内科学1	1,700	①補委 文部科学省
顆粒球分化の調節機構の解明:未分化性を標的とした新たな抗腫瘍療法を目指して	中村 誠	小児科学	600	①補委 文部科学省
悪性黒色腫の転移メカニズムの解明	原田 和俊	皮膚科学	1,500	①補委 文部科学省
上気道ウイルス感染機序解明のための扁桃を用いた新しいアプローチ法	森山 元大	耳鼻咽喉科	1,200	①補委 文部科学省
Claudin-WNK系による消化器上皮タイトジャンクションの制御機構	山内 小津枝	内科学1	1,800	①補委 文部科学省
甲状腺転写因子TTF-1のエピジェネティクス制御と癌の分化誘導に関する研究	近藤 哲夫	人体病理学	1,600	①補委 文部科学省
大腸癌におけるDkk FamilyのWntシグナル制御機構の解明	山口 達也	内科学1	1,700	①補委 文部科学省
臍帯血由来NK細胞の抗白血病効果の検討	本名 浩子	小児科学	1,800	①補委 文部科学省
11q23転座型急性白血病に対するFLT3阻害剤を用いた分子標的療法	高橋 和也	小児科学	1,300	①補委 文部科学省
新規腫瘍関連抗原を用いた悪性黒色腫、悪性リンパ腫に対するワクチン療法の基礎研究	三井 広	皮膚科学	2,000	①補委 文部科学省
ウイルス感染における皮膚マスト細胞の役割の解明	矢ヶ崎 晶子	皮膚科学	2,700	①補委 文部科学省
肺癌における分子標的治療の研究(sirRNAを用いたmTORの制御)	松原 寛知	外科学2	2,200	①補委 文部科学省
RNA干渉を利用したアレルギー性鼻炎の新しい治療薬開発の基礎的研究	遠藤 周一郎	耳鼻咽喉科	1,300	①補委 文部科学省
TWEAKレセプターFn14の遺伝子プロモーター解析	岡本 篤司	耳鼻咽喉科	2,500	①補委 文部科学省
血栓止血におけるラミンの役割の解明	井上 修	臨床検査医学	1,340	①補委 日本学術振興会
持続的血液濾過透析施行下におけるテロプラニンの有効性に関する研究	柳本 洋美	薬剤部	760	①補委 日本学術振興会
閉鎖環境居住によるストレスと血小板機能亢進について	長田 誠	検査部	750	①補委 日本学術振興会
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立のための臨床試験	大西 洋	放射線医学	450	①補委 日本学術振興会
網膜神経節細胞障害:局所・中枢における高次細胞障害機構とその保護・再生治療の研究	柏木 賢治	眼科学	1,300	①補委 日本学術振興会
薬剤耐性肝炎ウイルス感染の病態解明と対策に関する研究	榎本 信幸	内科学1	83,600	①補委 厚生労働省
C型肝炎新規治療開発に資するプロテオーム解析を用いた治療標的分子の網羅的検索系とヒト肝細胞キメラマウスHCV感染モデルを用いた実証系の開発に関する研究	榎本 信幸	内科学1	3,000	①補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
ジェノミクス技術を用いたウイルス性肝炎に対する新規診断・治療法の開発	前川 伸哉	内科学1	3,000	厚生労働省	補委
肝炎診療全国ネットワーク構築とその支援のための情報センターのあり方に係る研究	榎本 信幸	内科学1	1,200	厚生労働省	補委
スモンに関する調査研究	塩澤 全司	神経内科	700	厚生労働省	補委
重症難病患者の地域支援体制の構築に関する研究	塩澤 全司	神経内科	700	厚生労働省	補委
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に関する標準的治療法の確立に関する研究	武田 正之	泌尿器科学	300	厚生労働省	補委
代替医療の実態と有効性の科学的評価	増山 敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2,000	厚生労働省	補委
リアルタイムモニター飛散数と現状の治療によるQOLの関連性の評価研究と花粉症根治療法の開発	増山 敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	3,000	厚生労働省	補委
がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用	大西 洋	放射線医学	600	厚生労働省	補委
定位放射線治療による予後改善に関する研究	大西 洋	放射線医学	500	厚生労働省	補委
治療抵抗性うつ病に対する治療システム構築のための研究:電気けいれん療法と磁気刺激療法	本橋 伸高	精神神経医学・臨床倫理学	1,000	国立精神・神経センター	補委
統合失調症治療におけるECTのガイドライン作成とその検証	本橋 伸高	精神神経医学・臨床倫理学	430	国立精神・神経センター	補委
小児期特異的血液疾患の分子遺伝学的解析	杉田 完爾	小児科学	1,000	国立成育医療センター	補委
術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験(治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法との比較検討)	藤井 秀樹	外科学1	163	(財)がん集学的治療:研究財団	補委
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法法の検討-多施設無作為化比較試験-	増山 敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	105	(財)先端医療振興財団	補委
本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究-心筋梗塞、脳梗塞などの動脈血栓性疾患を対象として-	木内 博之	脳神経外科学	160	(財)循環器病研究振興財団	補委
				計71件	

## 様式第11

## 2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	J Infect Dis. 2008 Feb 1;197(3):361-70	Targeting lipid metabolism in the treatment of hepatitis C virus infection.	Amemiya F, Maekawa S, Itakura Y, Kanayama A, Matsui A, Takano S, Yamaguchi T, Itakura J, Kitamura T, Inoue T, Sakamoto M, Yamauchi K, Okada S, Yamashita A, Sakamoto N, Itoh M, Enomoto N.	第1内科
2	J Gen Virol. 2007 Dec;88(Pt 12):3323-33.	Hepatitis C virus non-structural proteins responsible for suppression of the RIG-I/Cardif-induced interferon response	Tasaka M, Sakamoto N, Itakura Y, Nakagawa M, Itsui Y, Sekine-Osajima Y, Nishimura-Sakurai Y, Chen CH, Yoneyama M, Fujita T, Wakita T, Maekawa S, Enomoto N, Watanabe M.	第1内科
3	Virology. 2008 Feb 5;371(1):71-85. Epub 2007 Oct 22.	Development of plaque assays for hepatitis C virus-JFH1 strain and isolation of mutants with enhanced cytopathogenicity and replication capacity	Sekine-Osajima Y, Sakamoto N, Mishima K, Nakagawa M, Itsui Y, Tasaka M, Nishimura-Sakurai Y, Chen CH, Kanai T, Tsuchiya K, Wakita T, Enomoto N, Watanabe M.	第1内科
4	J Gastroenterol Hepatol. 2007 Aug 7.	Inhibition of hepatitis C virus infection and expression in vitro and in vivo by recombinant adenovirus expressing short hairpin RNA	Sakamoto N, Tanabe Y, Yokota T, Satoh K, Sekine Osajima Y, Nakagawa M, Itsui Y, Tasaka M, Sakurai Y, Cheng-Hsin C, Yano M, Ohkoshi S, Aoyagi Y, Maekawa S, Enomoto N, Kohara M, Watanabe M	第1内科
5	肝胆膵 55(4): 633-640, 2007.10	占拠性肝疾患に対するCT/MRIの現況と展望	北村敬利, 市川智章, 榎本信幸, Ali Muhi, 佐野勝廣, 岡田俊一, 松田政徳, 荒木力	第1内科
6	Liver Cancer 14(1): 58-69, 2008	RFA導入以前に初発肝細胞癌に対し内科的治療法が選択された症例における10年生存例の検討	岡田俊一, 北村敬利, 雨宮史武, 井上泰輔, 植竹智義, 坂本 穰, 前川伸哉, 榎本信幸, 相野田隆雄, 赤羽賢浩	第1内科
7	Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2007 Dec;293(6):H3490-7	Statin reverses reduction of adiponectin receptor expression in infarcted heart and in TNF-alpha-treated cardiomyocytes in association with improved glucose uptake.	Saito Y, Fujioka D, Kugiyama K, et al.	第2内科
8	J Am Coll Cardiol. 2007 Oct 2;50(14):1305-9	Sirolimus-eluting stent implantation aggravates endothelial vasomotor dysfunction in the infarct-related coronary artery in patients with acute myocardial infarction.	Obata JE, Kitta Y, Kugiyama K, et al.	第2内科
9	J Card Fail. 2007 May;13(4):247-53	Association of low serum levels of apolipoprotein A-I with adverse outcomes in patients with nonischemic heart failure.	Iwaoka M, Obata JE, Kugiyama K, et al	第2内科
10	Atherosclerosis. 2008 Mar; 197(1):177-82	Echolucent carotid plaques predict in-stent restenosis after bare metal stenting in native coronary arteries.	Kitta Y, Obata JE, Kugiyama K, et al.	第2内科

11	Circ J. 2007 May;71(5):688-92	Association of high levels of plasma free dopamine with future coronary events in patients with coronary artery disease.	Abe M, Iwaoka M, Kugiyama K, et al.	第2内科
12	Clin Sci (Lond). 2007 Jun;112(12):607-16	A synthetic small molecule, ONO-1301, enhances endogenous growth factor expression and augments angiogenesis in the ischaemic heart.	Nakamura K, Sata M, Kugiyama K, et al.	第2内科
13	DIABETES CARE	COMMENTS AND RESPONSES High Titer of Autoantibodies to GAD Identifies a Specific Phenotype of Adult-Onset Autoimmune Diabetes.	Tetsuro KOBAYASHI Shoichiro TANAKA Taro MARUYAMA Akira SHIMADA	第3内科
14	Journal of the Peripheral Nervous System 1282): 131-138, 2007.	Orchestration of the inflammatory response in ischemia-reperfusion injury.	Haruyasu Iida, Low Phillip A, et al.	神経内科
15	Int J Hematol 2007; 86: 315-24.	Activation of FKHL1 plays an important role in protecting erythroid cells from erythropoietin deprivation-induced apoptosis in a human erythropoietin-dependent leukemia cell line, UT-7/EPO.	Uchida M, Kirito K, Endo H, Ozawa K, Komatsu N.	血液・腫瘍内科
16	Exp Hematol 2007; 35: 1358-1365.	Cloning and characterization of a human BCR/ABL-positive cell line, K562/RR, resistant to the farnesyltransferase inhibition by ripifarnib.	Miyoshia T, Nagai T, Kikuchi S, Ohmine K, Nakamura M, Hanafusa T, Komatsu N, Ozawa K.	血液・腫瘍内科
17	Haematologica. 2008 Jan;93(1):155-6.	A novel RUNX1 mutation in familial platelet disorder with propensity to develop myeloid malignancies.	Kirito K, Sakoe K, Shinoda D, Takiyama Y, Kaushansky K, Komatsu N.	血液・腫瘍内科
18	Int J Hematol. 2008 Jul;88(1):43-51.	Thrombopoietin (TPO) regulates HIF-1a levels through generation of mitochondrial reactive oxygen species.	Yoshida K, Kirito K, Yongzhen H, Ozawa K, Kaushansky K, Komatsu N.	血液・腫瘍内科
19	British Journal of Haematology 139(2):280-283	Monitoring neutrophil engraftment in allogeneic stem cell transplantation by flow cytometric analysis of neutrophil-specific antigens NA1 and NA2.	Inukai T, Uno K Taniguchi, K, Goi K Tezuka T, Nemoto A Takahashi K, Sato H Akahane K, Hirose K Honna H, KAGAMI K Hiraoka A, Tanihiro M Nakazawa S, Sugita K	小児科
20	Cancer Research 15(67(20)):9852-9861	Fms-like Tyrosine Kinase 3 Ligand Stimulation Induces MLL-Rearranged Leukemia Cells into Quiescence Resistant to Antileukemic Agents	Furuichi Y, Goi K Inukai T, Sato H Nemoto A, Takahashi K Akahane K, Hirose K Honna H, Kuroda I Zhang X, Kagami K Hayashi Y, Harigaya K Nakazawa S, Sugita K	小児科
21	山梨医科学雑誌21:47-51	8;21転座型急性骨髄性白血病の1例におけるAML1-MTG8mRNA発現レベルの経時的解析	廣瀬 衣子 犬飼 岳史 宇野 佳奈子 赤羽 弘資 根本 篤 高橋 和也 佐藤 広樹 合井 久美子 杉田 完爾 中澤 眞平	小児科